

第17期 決算速報

(平成22年7月1日から平成23年6月30日まで)



平成23年8月5日

株式会社 旅籠屋

会社名 (定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名 (英文商号)	Hatagoya & Company
コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿3丁目3番4号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

I 当期の業績

(1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第4四半期 H22.4.1~ H22.6.30	第1四半期 H22.7.1~ H22.9.30	第2四半期 H22.10.1~ H22.12.31	第3四半期 H23.1.1~ H23.3.31	第4四半期 H23.4.1~ H23.6.30	累計 H22.7.1~ H23.6.30		同期累計 H21.7.1~ H22.6.30
I 営業収益	売上高	175,797	296,227	189,266	162,052	169,781	817,329	+2.5%	797,356
II 営業費用	売上原価	171,237	186,255	173,658	169,682	166,182	695,779	+1.8%	683,805
	販売費及び一般管理費	20,252	19,064	21,197	18,901	22,146	81,310	+11.8%	72,715
	営業利益または営業損失(▲)	▲15,691	90,908	▲5,589	▲26,531	▲18,547	40,239	▲1.5%	40,835
III 営業外収益		1,527	227	186	1,823	457	2,694	+5.9%	2,543
IV 営業外費用		7,074	4,947	4,825	4,532	12,006	26,312	+5.9%	24,854
	経常利益または経常損失(▲)	▲21,239	86,187	▲10,228	▲29,240	▲30,097	16,621	▲10.3%	18,524
V 特別利益		—	—	—	—	657	657	—	—
VI 特別損失		—	—	—	—	—	—	—	—
	税引前四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲21,239	86,187	▲10,228	▲29,240	▲29,439	17,278	▲6.7%	18,524
	法人税、住民税 四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	2,409	1,824	1,824	1,824	1,876	7,349	+0.7%	7,297
		▲23,649	84,363	▲12,053	▲31,065	▲31,315	9,929	▲11.6%	11,226
	期中平均株式数	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	—	6,245 株
	1株当たり四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲3,786 円	13,508 円	▲1,930 円	▲4,974 円	▲5,014 円	1,590 円	▲209 円	1,798 円
	潜在株式調整後 1株当たり 四半期(当期)純利益 (注1)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	
		第4四半期末 H22.6.30	第1四半期末 H22.9.30	第2四半期末 H22.12.31	第3四半期末 H23.3.31	第4四半期末 H23.6.30	
(資産の部)	I 流動資産	現金預金	148,807	255,754	214,963	199,878	138,207
		その他	34,321	40,003	39,058	38,099	37,341
		流動資産合計	183,128	295,758	254,022	237,977	175,549
	II 固定資産	リース資産	646,361	637,616	628,870	620,124	611,378
		他の有形固定資産	242,806	238,489	236,578	228,353	234,984
		無形固定資産	2,453	2,283	2,113	1,943	2,162
		投資その他の資産	95,298	94,848	97,032	101,392	98,010
	固定資産合計	986,920	973,236	964,594	951,813	946,535	
	資産合計	1,170,048	1,268,994	1,218,617	1,189,791	1,122,085	
(負債の部)	I 流動負債		131,294	172,246	156,277	175,368	177,999
		II 固定負債	704,969	696,091	687,176	678,211	646,775
		リース債務	122,659	105,166	91,727	83,840	76,755
		他の固定負債 (注2)					
	負債合計	958,922	973,504	935,180	937,419	901,529	
(純資産の部)	I 株主資本	資本金	331,000	331,000	100,000	100,000	100,000
		資本剰余金 資本準備金	68,916	68,916	68,916	68,916	68,916
		その他資本剰余金	—	—	41,710	41,710	41,710
		利益剰余金 繰越利益剰余金	▲189,289	▲104,926	72,310	41,245	9,929
			株主資本合計	210,626	294,989	282,936	251,871
	II 新株予約権	新株引受権	500	500	500	500	—
		純資産合計	211,126	295,489	283,436	252,371	220,555
	負債・純資産合計	1,170,048	1,268,994	1,218,617	1,189,791	1,122,085	
	発行済株式総数	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	
	1株当たり純資産	33,727 円	47,236 円	45,306 円	40,331 円	35,317 円	

(注2) 長期借入金のうち1年以内の返済予定額 45,904千円は、他の固定負債ではなく、流動負債に含めております。

(3) 株主資本等変動計算書 (平成 22 年 7 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本					新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	株主資本 合計	新株引受権	
		資本準備金	その他資本剰余金	その他利益剰余金			
平成 22 年 6 月 30 日残高	331,000	68,916		▲189,289	210,626	500	211,126
第 1 四半期中の変動額				+84,363	+84,363		
第 1 四半期中の変動額の合計				+84,363	+84,363		+84,363
平成 22 年 9 月 30 日残高	331,000	68,916		▲104,926	294,989	500	295,489
第 2 四半期中の変動額	▲231,000		+231,000				
資本金の額の減少							
その他資本剰余金の処分			▲189,289	+189,289			
四半期純利益				▲12,053	▲12,053		
第 2 四半期中の変動額の合計	▲231,000		+41,710	+177,236	▲12,053		▲12,053
平成 22 年 12 月 31 日残高	100,000	68,916	41,710	72,310	282,936	500	283,436
第 3 四半期中の変動額				▲31,065	▲31,065		
四半期純利益				▲31,065	▲31,065		
第 3 四半期中の変動額の合計				▲31,065	▲31,065		▲31,065
平成 23 年 3 月 31 日残高	100,000	68,916	41,710	41,245	251,871	500	252,371
第 4 四半期中の変動額				▲31,315	▲31,315		
四半期純利益				▲31,315	▲31,315		
それ以外の変動額						▲500	
第 4 四半期中の変動額の合計				▲31,315	▲31,315	▲500	▲31,815
平成 23 年 6 月 30 日残高	100,000	68,916	41,710	9,929	220,555	—	220,555

(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書第5経理の状況 (4)個別注記表 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
- 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間収益または期間費用として処理しています。
- 税金の計上基準 法人税、住民税および事業税の年間見積り額の4分の1相当額を計上しています。
- 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。
- 会計方針の変更 当事業年度より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これによる、営業利益、経常利益及び税引き前当期純利益に与える影響はありません。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書および株主資本等変動計算書については、監査法人の監査を受けておりません。

(5) 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産 定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。
建物:17～18年、構築物:15～20年、車両運搬具:4～6年、工具器具備品:3～8年
- (2) 無形固定資産 定額法を採用しています。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しています。均等償却によっています。
- (3) 長期前払費用 定額法を採用しています。

2. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

3. リース取引の処理方法

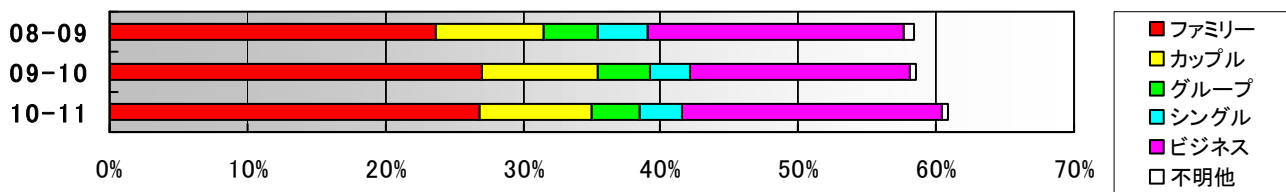
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る会計処理によっています。

なお、リース取引会計基準の改正適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る会計処理によっています。

Ⅱ 第17期（平成22年7月1日～平成23年6月30日）の業績の概況

客室稼働率（全店通算、構成内訳別）の推移

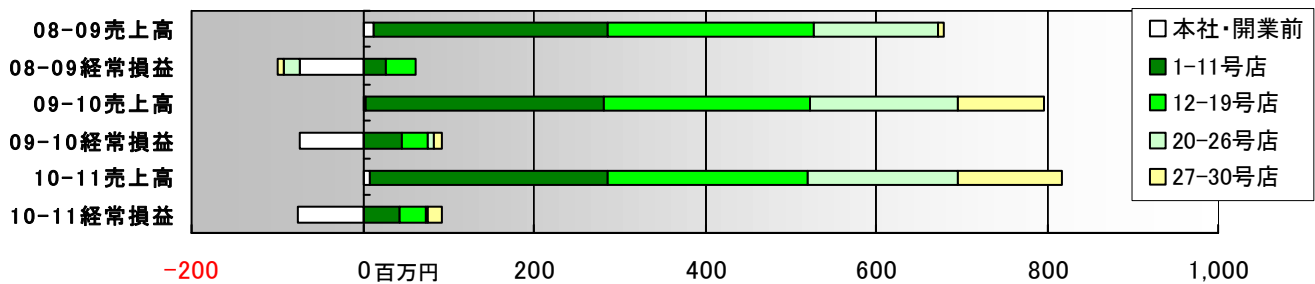
（平成22年7月1日～平成23年6月30日）



3期ぶりに60%を超えました。構成別内訳では、リーマンショック後の景気悪化にともない、観光客の増加とビジネス利用の減少傾向が続いていましたが、震災後は一転して逆の動きになっています。

売上高・経常損益（全社合計、出店時期別）の推移

（平成22年7月1日～平成23年6月30日）



部門別内訳

（単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております）

（※1）「前橋南店」「軽井沢店」の売上高は、運営受託店のため、宿泊営業売上ではなく運営受託料売上です。

科目	期別	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度 同期累計 H21.7.1～ H22.6.30
		第4四半期 H22.4.1～ H22.6.30	第1四半期 H22.7.1～ H22.9.30	第2四半期 H22.10.1～ H22.12.31	第3四半期 H23.1.1～ H23.3.31	第4四半期 H23.4.1～ H23.6.30	累計 H22.7.1～ H23.6.30		
本社	売上高	124	243	58	5,517	2,480	8,300	+124.2%	3,702
	経常損益	▲20,885	▲19,584	▲22,037	▲12,220	▲20,071	▲73,913	-	▲73,687
01 日光鬼怒川店 1995.8 開業	売上高	7,940	15,774	9,776	6,609	5,926	38,086	▲2.0%	38,864
	経常損益	1,301	6,623	1,804	▲343	▲621	7,462	▲14.7%	8,743
	客室稼働率	47.8%	72.1%	63.5%	46.7%	42.6%	56.3%	+1.7p	54.6%
02 那須店 2000.4 開業	売上高	6,145	10,694	6,789	4,516	4,722	26,722	▲7.6%	28,914
	経常損益	1,004	4,884	1,532	▲256	152	6,312	▲20.0%	7,892
	客室稼働率	53.6%	75.5%	63.1%	41.4%	43.2%	55.9%	▲2.4p	58.3%
03 秋田六郷店 2000.6 開業	売上高	3,572	5,818	2,600	1,488	3,341	13,249	+10.2%	12,018
	経常損益	▲25	2,184	▲670	▲1,596	256	173	-	▲2,011
	客室稼働率	46.4%	61.2%	40.2%	22.8%	46.2%	42.7%	+8.6p	34.1%
04 山中湖店 2001.7 開業	売上高	7,723	13,599	8,155	4,975	6,855	33,586	▲4.9%	35,320
	経常損益	1,222	6,211	1,635	▲840	755	7,761	▲17.3%	9,382
	客室稼働率	62.6%	82.8%	63.7%	40.4%	53.2%	60.2%	▲7.0p	67.2%
05 沼田店 2001.7 開業	売上高	5,865	8,439	6,892	7,300	6,078	28,710	▲0.2%	28,755
	経常損益	329	2,397	1,078	1,239	627	5,343	▲0.8%	5,386
	客室稼働率	76.3%	84.9%	85.9%	85.7%	88.1%	86.1%	+7.1p	79.0%
06 水戸大洗店 2001.10 開業	売上高	5,136	9,388	4,672	4,206	4,082	22,350	▲10.6%	25,010
	経常損益	159	3,604	▲521	▲933	▲1,034	1,114	▲71.5%	3,910
	客室稼働率	60.4%	72.9%	51.1%	53.2%	57.1%	58.6%	▲3.8p	62.4%
07 北上店 2002.7 開業	売上高	3,644	6,672	3,856	3,348	6,204	20,081	+34.2%	14,963
	経常損益	▲1,344	1,326	▲940	▲1,623	965	▲272	-	▲4,420
	客室稼働率	39.5%	55.6%	54.7%	45.7%	86.3%	60.6%	+24.1p	36.5%
08 仙台亘理店 2004.4 開業	売上高	4,841	8,176	4,911	3,041	7,423	23,552	+6.4%	22,131
	経常損益	▲630	2,619	▲566	▲1,743	2,126	2,436	+170.4%	901
	客室稼働率	51.9%	67.3%	61.2%	36.9%	95.8%	65.4%	+10.1p	55.3%
09 小淵沢店 2004.7 開業	売上高	6,838	10,621	6,958	5,773	6,866	30,220	▲0.7%	30,429
	経常損益	1,321	4,319	1,286	205	1,528	7,339	▲10.3%	8,181
	客室稼働率	84.3%	92.0%	85.3%	72.2%	82.1%	83.0%	▲1.2p	84.2%
10 前橋南店 2005.7 開業	(※1)売上高	3,390	5,377	3,697	3,557	3,136	15,769	▲2.1%	16,105
	経常損益	38	1,741	474	▲79	▲107	2,029	▲20.6%	2,555
	客室稼働率	66.7%	74.7%	71.6%	70.8%	67.6%	71.2%	▲0.6p	71.8%
11 九十九里店 2005.12 開業	売上高	5,751	9,687	6,171	5,443	4,298	25,600	▲2.7%	26,300
	経常損益	615	3,956	781	69	▲419	4,387	▲15.4%	5,185
	客室稼働率	74.4%	84.0%	80.0%	73.9%	59.5%	74.4%	▲0.6p	75.0%

12 東京新木場店 2006.3 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	15,513 ▲2,121 60.1%	24,455 7,903 82.1%	20,547 4,375 86.4%	16,417 348 80.4%	11,068 ▲3,704 50.5%	72,488 8,922 74.9%	▲8.0% ▲21.9% +1.3p	78,768 11,425 73.6%
13 千葉勝浦店 2007.3 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	6,676 1,231 80.1%	10,352 4,233 83.2%	6,532 991 84.3%	6,228 729 81.1%	5,102 ▲76 67.1%	28,216 5,878 79.0%	▲7.5% ▲25.6% ▲3.4p	30,497 7,896 82.4%
14 軽井沢店 2007.4 開業	(※1)売上高 経常損益 客室稼働率	3,491 35 57.7%	9,383 5,577 86.2%	4,214 493 58.5%	1,807 ▲1,361 39.1%	3,168 ▲280 52.9%	18,575 4,428 59.3%	+1.4% ▲6.1% ▲0.3p	18,319 4,718 59.6%
15 須賀川店 2007.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,771 ▲339 55.7%	8,027 2,638 73.6%	4,838 ▲410 59.4%	3,571 ▲1,586 46.7%	5,821 737 83.2%	22,259 1,378 65.8%	+4.6% +119.1% +10.3p	21,270 629 55.5%
16 いわき勿来店 2007.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	5,645 ▲46 53.6%	11,790 5,229 76.6%	5,808 51 51.6%	3,908 ▲1,582 35.9%	6,790 1,266 89.2%	28,298 4,963 63.4%	+0.4% +1.8% +7.2p	28,176 4,876 56.2%
17 牧之原店 2007.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	3,705 ▲1,238 36.8%	7,851 2,232 60.9%	4,878 ▲314 53.9%	4,740 ▲540 50.8%	3,695 ▲1,177 35.2%	21,166 201 50.2%	+10.5% - +5.8p	19,156 ▲1,751 44.4%
18 金沢内灘店 2007.10 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,826 ▲388 49.1%	8,458 2,833 66.8%	3,948 ▲939 41.7%	2,934 ▲1,865 30.2%	4,346 ▲622 42.6%	19,687 ▲593 45.4%	+1.1% - +0.9p	19,482 ▲817 44.5%
19 韭崎店 2007.12 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	5,212 118 58.0%	9,046 3,356 77.3%	4,998 ▲31 56.3%	4,661 ▲416 56.4%	5,810 940 74.0%	24,516 3,849 66.0%	+1.2% +2.3% +0.9p	24,228 3,763 65.1%
20 土岐店 2008.3 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,274 ▲1,056 44.1%	6,794 883 60.1%	4,944 ▲549 55.7%	4,629 ▲990 46.9%	4,491 ▲975 46.3%	20,859 ▲1,631 52.3%	+11.7% - +7.1p	18,681 ▲2,793 45.2%
21 伊賀店 2008.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,009 ▲1,150 33.8%	6,723 1,218 49.0%	4,136 ▲1,324 34.2%	3,861 ▲1,550 33.4%	3,641 ▲1,408 29.7%	18,362 ▲3,065 36.6%	+8.0% - +2.4p	17,009 ▲3,314 34.2%
22 壇之浦 PA 店 2008.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	8,045 1,191 69.4%	10,586 3,221 71.9%	8,238 1,843 67.3%	6,617 101 55.2%	7,780 1,195 66.6%	33,222 6,361 65.3%	▲2.2% ▲11.0% ▲3.9p	33,956 7,150 69.2%
23 松阪東店 2008.6 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,855 ▲245 51.8%	8,254 2,642 62.8%	5,186 ▲78 48.6%	5,369 49 51.9%	4,405 ▲507 40.8%	23,214 2,106 51.0%	+6.3% +28.0% ▲3.6p	21,838 1,645 54.6%
24 浜名湖店 2008.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,533 ▲2,120 32.5%	9,365 2,469 58.3%	4,531 ▲1,784 32.5%	4,654 ▲1,892 35.8%	4,414 ▲2,747 31.9%	22,964 ▲3,954 39.6%	▲3.9% - ▲1.7p	23,884 ▲2,752 41.3%
25 佐野 SA 店 2008.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	8,001 834 68.4%	11,356 3,818 78.0%	8,620 1,717 69.3%	7,307 268 61.7%	7,977 409 68.9%	35,262 6,213 69.5%	+1.2% ▲0.3% ▲1.8p	34,840 6,234 71.3%
26 新潟南店 2008.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	5,410 ▲558 56.0%	8,930 2,798 64.8%	4,094 ▲1,170 46.0%	3,711 ▲1,920 43.2%	4,142 ▲2,772 41.3%	20,879 ▲3,065 48.9%	▲10.4% - ▲8.1p	23,301 ▲58 57.0%
27 奈良針店 2009.3 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	7,603 1,760 81.7%	9,426 3,500 67.2%	7,967 1,515 69.1%	5,513 ▲327 51.3%	6,171 ▲130 61.9%	29,078 4,558 62.5%	+9.0% ▲4.7% ▲1.1p	26,679 4,781 63.6%
28 彦根店 2009.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,917 ▲971 41.7%	8,359 2,251 58.6%	5,624 ▲537 52.1%	4,743 ▲914 40.9%	5,512 ▲1,636 47.1%	24,239 ▲835 49.7%	+9.8% - +3.1p	22,066 ▲515 46.6%
29 桑名長島店 2009.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	8,327 1,465 68.5%	14,124 6,842 89.6%	11,314 4,060 85.2%	12,149 4,413 87.1%	8,730 563 65.3%	46,319 15,878 81.8%	+33.8% +75.2% +12.9p	34,631 9,062 68.9%
30 寒河江店 2009.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	5,002 ▲747 44.6%	8,445 2,251 65.8%	4,300 ▲1,097 44.7%	3,445 ▲1,927 36.1%	5,294 ▲1,324 47.4%	21,485 ▲2,098 48.6%	+19.0% - +10.5p	18,051 ▲3,611 38.1%
31 高松店	経常損益	-	-	▲10	▲130	▲874	▲1,014	-	-
32 富士吉田店	経常損益	-	-	▲884	▲11	▲787	▲1,683	-	-
33 袖ヶ浦店	経常損益	-	-	-	▲6	▲217	▲223	-	-
34 宮島 SA 店	経常損益	-	-	-	▲6	▲124	▲130	-	▲66
全社合計	売上高 経常損益 客室稼働率	175,797 ▲21,239 56.7%	296,227 86,187 72.0%	189,266 ▲10,228 61.0%	162,052 ▲29,240 52.2%	169,781 ▲30,097 58.0%	817,329 16,621 60.8%	+2.5% ▲10.3% +2.3p	797,356 18,524 58.5%

震災の影響により、今期第 4 四半期は前年同期に比べ稼働率は上回りましたが、売上高、経常利益は下回る結果となりました。「仙台亙理店」「いわき勿来店」「北上店」「須賀川店」など被災地に近い店舗は復興需要により稼働率が急増していますが、大部分がビジネス利用であるため、売上高・経常利益の増加は比例していません。また、栃木県・千葉県・東京都内の店舗は、観光客の減少により、業績が大きく低下しています。

こうしたことから、通期でも前期に比べ、稼働率 (+2.3p) 売上高 (+2.5%) は上回りましたが、経常利益 (▲10.3%) は減益となりました。観光需要の落ち込みにより、業界全般の低迷が顕著なようですが、当社の場合、観光・ビジネスを問わない汎用施設であるため、比較的堅調と言えるものの、影響は明らかです。

Ⅲ 第18期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	第16期 通期実績 H21.7.1～ H22.6.30	第17期 通期実績 H22.7.1～ H23.6.30	第18期				通期予想 H23.7.1～H24.6.30
			第1四半期予想 H23.7.1～9.30	第2四半期予想 H23.10.1～12.31	第3四半期予想 H24.1.1～3.31	第4四半期予想 H24.4.1～6.30	
売上高	797,356	817,329	290,000	210,000	194,000	206,000	900,000
経常損益	18,524	16,621	80,000	▲12,000	▲24,000	▲24,000	20,000
当期純損益	11,226	9,929	78,000	▲14,000	▲26,000	▲26,000	12,000

今期第4四半期も震災の影響による観光需要の減少が顕著でしたが、通期で売上高(820,000→817,329千円)経常損益(18,000→16,621千円)、純利益(10,000→9,929千円)ともにはば予想どおりの結果となりました。ただし、東日本を中心に、明らかに夏休みの観光客が減少していること、復興需要も減少傾向にあること、新規出店の継続による負担が発生することなどから、来期は売上高、経常損益、純損益ともに若干の伸びにとどまると予想しています。しかし、安定して黒字を計上する状況は維持できる見通しです。

Ⅳ 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	第16期第4四半期 H22.4.1～6.30	第17期第1四半期 H22.7.1～9.30	第17期第2四半期 H22.10.1～12.31	第17期第3四半期 H23.1.1～3.31	第17期第4四半期 H23.4.1～6.30
現金および預金の増減額	▲28,743	+106,946	▲40,791	▲15,085	▲61,670
現金および預金の四半期首残高	177,551	148,807	255,754	214,963	199,878
現金および預金の四半期末残高	148,807	255,754	214,963	199,878	138,207

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨て) 当期より、1年以内返済予定額は短期借入金として表示します。

科目	第16期第4四半期 H22.4.1～6.30	第17期第1四半期 H22.7.1～9.30	第17期第2四半期 H22.10.1～12.31	第17期第3四半期 H23.1.1～3.31	第17期第4四半期 H23.4.1～6.30
短期借入金の増減額	—	+136,067	▲24,691	+23,920	▲39,384
短期借入金の四半期首残高	—	—	136,067	111,376	135,296
短期借入金の四半期末残高	—	136,067	111,376	135,296	95,912

借入金の減少は、約定返済によるものです。

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨て) 当期より、1年以内返済予定額は短期借入金として表示します。

科目	第16期第4四半期 H22.4.1～6.30	第17期第1四半期 H22.7.1～9.30	第17期第2四半期 H22.10.1～12.31	第17期第3四半期 H23.1.1～3.31	第17期第4四半期 H23.4.1～6.30
長期借入金の増減額	▲25,636	▲111,703	▲13,439	▲7,887	▲7,085
長期借入金の四半期首残高	242,505	216,869	105,166	91,727	83,840
長期借入金の四半期末残高	216,869	105,166	91,727	83,840	76,755

借入金の減少は、約定返済によるものです。

(4) 投資その他の資産の内訳 第17期第4四半期末(平成23年6月30日)時点(千円未満は切り捨てて表示)

78,211千円	… 借上直営店における差入れ保証金(契約満了時返済)
14,000千円	… 「軽井沢店」における建設協力金(10年均等償却)
2,466千円	… 借地直営店における借地権利金(20年均等償却)
2,132千円	… 保険料積立金
1,200千円	… 取引信用金庫などへの出資金
合計 98,010千円	

V 今後の事業展開と出店計画について

「高松店」「富士吉田店」「袖ヶ浦店」がオープン

震災による資材の納期遅れなどが発生し厳しい工事となりましたが、いずれも予定通り完成オープンしました。なお、利用者の利便性の向上、運営業務の効率化、停電対策などのため、これらの店舗から20箇所以上の仕様変更・改善を盛り込んでいます。



高松店（7月1日オープン）



富士吉田店（7月8日オープン）



袖ヶ浦店（7月29日オープン）

今後の出店計画

関東・中部・中国・四国地方などで出店の具体化を進めており、11月オープン予定の「宮島SA店」に続き、来春には複数の店舗をオープンさせたいと考えています。正式に決定次第、公表させていただきます。

期末配当の実施

当社は、1999年にグリーンシートに登録し公募増資を行ないましたが、2号店以降のチェーン展開のスタートはこの資金に負うところが少なくありません。その後、上位市場を含む株価の低迷もあり、投資家への利益還元が果たせない状況が続いていましたが、ようやく安定して利益を計上できる状況となり、昨年11月に実施した資本金の額の減少とその他資本剰余金の処分により配当可能利益を生じる見通しとなったため、定時株主総会（9月9日開催予定）に期末配当の実施を諮ることといたしました。

以上